



短期日本語プログラム研修 (NUSTEP) を開催

■国際機構国際言語センター



減災館からライブ配信

2月10日(開講式)から24日(修了式)までの13日間、名古屋大学短期日本語プログラム研修 (NUSTEP) を、オンラインで開催しました。

このプログラムは、平成27年度から開催を始め、今回で7回目です。

今回の参加者は17名で、最終日に全員が修了プレゼンテーションを行い、修了証書を授与しました。

参加者は、本学と学術交流協定を締結する海外の大学に在籍する正規学生(学部生)で、このプログラムに参加することで、日本語学習、日本の伝統文化体験、日本企業見学及び本学学生との交流等を通して、日本の文化・社会の理解を深めてもらうこととしています。また、本学の専門講義の受講やラボ見学などを通じ、優れた教育・研究活動を体験することも特色です。

●全てオンラインで実施

過去6回は体験型プログラムとして開催しましたが、今回は初めてオンラインで実施することになり、不安の中で本番を迎えました。開講にあたり、従来の体験型のプログラムの特徴を生かして、渡日しなくても、オンラインならではのライブ感が得られるような工夫を凝

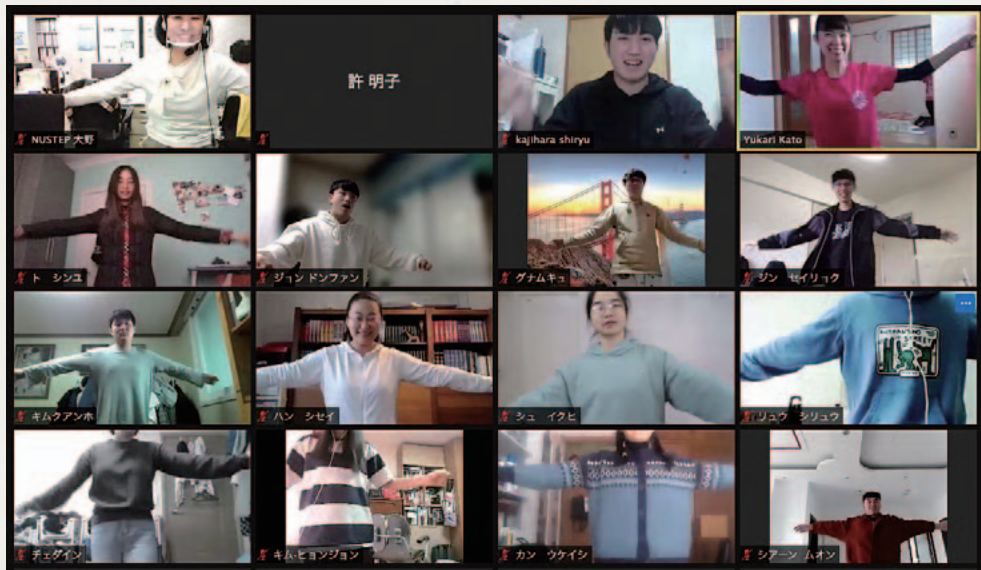
らしました。

減災館からのライブ配信、キャンパスツアーの動画撮影と同時解説を行い、名大にいるような臨場感が味わえるようにしました。また、外部から講師を招いて落語や着付けの実演を行い、日本文化に接してもらう機会を作りました。このように、日本語を学ぶこと以外に、本学学生との交流の場として、サークル紹介なども行い、様々な手段により交流の機会を提供しました。受講者は、課外時間にも「名大生とご飯を食べよう」と呼びかけ、オンライン・ランチ会で学生同士の交流が行われるなど、時間を忘れて語り合う光景が幾度となく見られ、距離感を感じさせないほどの絆を体験してくれました。

●優秀な留学生獲得へ

今回の試みが、本学と協定校との新たな国際交流の礎となり、往來を伴わないことがハンディではなく、新たな機会と捉え、日本語教育の発展と学生同士の積極的な交流を実践することができました。

この取り組みを契機に、今後は、多くの優秀な留学生の獲得へと繋がっていくことを期待しています。



サークル「怪踊乱舞」と受講生とで一緒にダンス